

お誕生日おめでとう

満1歳

次回申し込み要領

●対象者 平成15年9月生まれの赤ちゃん
 ●必要なもの 赤ちゃんの写真(ふりがな付きの氏名、生年月日を裏書)、保護者のメッセージ(70字以内、居住区、保護者の氏名、第何子を明記)
 ※ここで掲載された写真や氏名などは、須恵町ホームページの中の「広報すえまち」で公開されますので、その旨了解の上申し込みください。なお、写真は返却しません。
 ●締切日 7月30日(先着10人まで)
 ●問合せ先 役場総務課 ☎932-1151



よしの 佳乃 ちゃん
(H15.7.4生まれ)

メッセージ
 「佳乃1才のお誕生日おめでとう♥明るく元気で思いやりのある女の子になって下さいね♥」
 上須恵区(勝・育恵 第1子)



ゆうと 優翔 ちゃん
(H15.7.16生まれ)

メッセージ
 「お誕生日おめでとう。いつもニコニコ笑顔でみんなを楽しませてくれてありがとう。これからも、笑顔を忘れず、元気で優しい男の子になって下さいね」
 乙植木区(行平・幸子 第1子)



かずき 一輝 ちゃん
(H15.7.9生まれ)

メッセージ
 「お誕生日おめでとう♥甘えん坊の一輝君!(双子の兄)お姉ちゃんや妹をひっぱってくれる強くて優しい子に成長して下さいね😊/パパとママは期待しているよ😊」
 甲植木区(正忠・千恵 第2子)



みつき 光起 ちゃん
(H15.7.18生まれ)

メッセージ
 「お誕生日おめでとう。光起が生まれてからのこの一年、家族のみ〜んなが幸せでい〜っぱいだよ。たくさん可愛い笑顔をありがとうね♥」
 南米里区(辰也・みゆき 第1子)



すずな 涼奈 ちゃん
(H15.7.9生まれ)

メッセージ
 「お誕生日おめでとう♥元気いっばいの涼奈ちゃん!(双子の妹)姉・兄と仲良くかわいらしい子に成長して下さいね😊/パパとママは楽しみにしているよ😊」
 甲植木区(正忠・千恵 第3子)



こうき 宏希 ちゃん
(H15.7.18生まれ)

メッセージ
 「HAPPY BIRTHDAY!毎日ステキな笑顔を見せてくれてありがとう。これからどんな表情を見せてくれるかとても楽しみです」
 山の神区(康宏・美鈴 第1子)



たくろう 卓朗 ちゃん
(H15.7.15生まれ)

メッセージ
 「愛嬌たっぷりの卓朗くん、お誕生日おめでとう♥ほ〜んと大きくなったよね。これからも元気に育ってね!」
 昭穂区(晋一・由美子 第1子)



きょうた 恭太 ちゃん
(H15.7.20生まれ)

メッセージ
 「毎日、素敵な笑顔をどうもありがとう。これからも、恭ちゃんが健やかに育ちます様に。心を込めて…♥Happy Birthday♥」
 上須恵区(恭治・未奈子 第1子)



たいせい 泰成 ちゃん
(H15.7.16生まれ)

メッセージ
 「1歳のお誕生日おめでとう!お兄ちゃんに泣かされても決してくじけない強い泰成君。これからも兄弟仲良く、優しくてたくましい子になって下さい!」
 城山区(浩一・恵都子 第2子)



さき 咲紀 ちゃん
(H15.7.23生まれ)

メッセージ
 「咲紀ちゃん お誕生日おめでとう!いつも笑顔で家族みんなを元気付けてくれる。そんな笑顔いつまでも大切にネ!!楽しい人生を歩んでいける様にパパ、ママはいつも応援してます」
 須恵区(淳・裕美子 第1子)

ほんの紹介

ヤングアダルト

今から150年も昔のスイス。山奥の貧しい農民たちは、8歳から15歳になる自分の子供たちをミラノの煙突掃除夫に売っていた。秘密結社「黒い兄弟」の仲間たちの波乱万丈の物語。



「黒い兄弟 上・下」
 リザ・テツナー著
 あすなる書房

一般書

20世紀の戦争には勝者も敗者もない。あるのは、おびただしい数の人間の死と大量の破壊だけである。この戦争の真実を伝え、同じ悲劇を繰り返したくないという願いから、次世代を担う子供たちにこの本を贈りたい。



「子どもに伝える世界の戦争と平和」(全5巻)
 荒井 信一ほか編集
 日本図書センター

赤ちゃん絵本

たつくんは、ひとりでパンツがはけません。なんべんはこうとしても うまくいきません。だからパンツをはかず外へ出かけてしまいます。色々な動物と出会って家へ帰ったたつくん。さてパンツがはけるかな? お母さんの作ってくれた赤いズボンもはけるかな?



「はけたよ はけたよ」
 神沢 利子文 西巻 茅子絵
 偕成社

児童書

戦争終結からまもなく5年。3年半ぶりにコソボを尋ねた著者が、質素ながらもたくましく暮らすザビット一家を、親密な視点から生き生きと捉えた写真集。



「ザビット一家、家を作る」
 長倉 洋海著
 偕成社

★休館のお知らせ
 毎月最後の木曜日は
 蔵書点検のため休館です。



○印は休館日です。

7月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	☆24
25	26	27	28	29	30	31

☆7月24日(土)工作教室14:00~
 ☆8月21日(土)おはなし会14:00~
 ☆8月28日(土)工作教室14:00~

8月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	☆21
22	23	24	25	26	27	☆28
29	30	31				

7月18日(日)から8月24日(火)までの夏休み期間は月曜日も開館します。

「子供たちへの願い」
 大島原 原竹 秀雄

私は子供たちのお喋りや、泣き、笑い、叫ぶあの弾んだ声が好きである。聴いているだけで、なんともいえない安らぎと、郷愁にも似た愉しさを覚える。

しかし残念なことに、野山や水辺から、地域の路地から、彼らの命あふれる声と姿を、あまり見かけなくなったのは淋しい。

菌止めのかからない少子化の今日では当然の成り行きだろう。背景には時代が強い競争社会が、ほんらい子供が享受できる自由で楽しい時間を奪っている状況や、豊かさをもたらした様々なマイナスイメージも否定できない。

難しいことはともかく、私には彼らの日常が、こうあつ

てほしいという願望がある。それはテレビやゲームにマンガといった映像での楽しみも結構だが、もっと友達と自然の中で遊び呆けてほしい。

教科書も先生も教えてくれない発見と感動を体験し、体と心が多くのことを学ぶはずだ。もうひとつは、テレビなどに夢中な時間を、ほんの少しでいいから、本に向けてくれる。いっしょに読んでほしい。

昔話や物語の面白さを知れば、少しづつ本と仲良くなるだろう。

その体験が、やがて読書という自分だけの、しかも生涯失うことのない宝を手にするチャンスである。

この宝は想像力や豊かな感情、他者への思いといったものを育み、幸せな気分にしてくれるに違いない。

問題は大切なきっかけ、それをつくってやるのは大人の工夫だろう。

私がかつてそうしてもらった、名作の読み聞かせなどは絶大な影響だったが、さて今の子に、年寄りのこんな願いが通じるかどうか、なんとも心もとない。